

# 山行報告書

山行管理部

自然保護・テーブル

大台ヶ原

5月19～20日

C L石野(博)

参加23名

5月19日(土)

JR森ノ宮駐輪場 07:00-大台ヶ原10:20-日出が原12:00  
(昼食)-13:03正木が原-13:45牛石ヶ原-14:25大蛇ヶ原-  
シオカラ谷-16:00駐車場-16:00~レクチャー

5月20日(日)

駐車場08:20-大台教会-中ノ谷-七ツ池10:00-ヤマト谷-  
開拓跡-展望台11:50-吊り橋-タタラ水12:50-木橋-  
大台教会13:45-駐車場14:30

環境省の大台ヶ原コースの案内では、「大台ヶ原の平均気温は札幌並み。夏の登山でも防寒具は必ず持って行きましょう」と記載されているように確かに寒かったです。1日目は日出ヶ岳、大蛇ヶ原などの展望がある東大台、2日目は原生的な森林が広がる西大台と全く感じの違う2つの大台ヶ原を歩きました。

西大台に入山するためには事前のレクチャーを受ける必要があり、時間の関係で東大台から下山後ビジターセンターでレクチャーを受けました。大台ヶ原は屋久島と日本で1位2位を争うほどの雨の多い地域だそうです。2日間雨にはあわず、ラッキーな山行となりました。ただ、東大台は思った以上に気温が低いうえに強風で、体感温度はさらに低下、日出ヶ岳での昼食時にはみんな風を避けながらの食事となりました。

2日目は入山人数を制限している西大台に入山、3班に分かれて前の班と10分の間隔を置いてのスタート。各班7～8人のため、きたろうでは珍しく静かな山行となりました。両日とも大台ヶ原でボランティアをしている会員のI東さんが大台の植物について、資料を持参のうえ解説をしてくださいました。I東さんの説明を聞きたいとの希望者が多かったためI東さんには1班から3班までを順次回って頂き、好評でした。下山予定時間までに全員無事下山し、楽しい山行を終えることができました。色々準備段階からお手伝い頂いたI東さんに感謝です。有り難うございました。

(岩佐 記)

## 公開山行 三上山（近江富士） 5月27日

CL 楠本、SL 石野（明）、山田（仁）、伊藤 参加 41 名（内一般 1 名）  
大阪 8：00→9：00 野洲…御神神社 10：00  
御神神社（点呼、体操）10：20…裏山道分岐 10：30…打越 10：55  
三上山 11：40（昼食）12：10…田中山分岐 13：00…妙光寺摩崖仏  
14：35…（クラブ紹介）解散…野洲駅 15：45

雨の予報も山行日が近づくにつれよいお天気に。朝鮮通信使が通ったとされる朝鮮人街道を通り、三上山をご神体とする御神神社へ。裏道から登り始めて 30 分くらいでお一人が熱中症になられ、救急車を要請。へりで搬出となる。点滴で無事帰宅とのこと。他 37 名は昼食後の暑い日射しの中、砂地で滑りそうな道を登ったり降りたりで下山。途中一か所分岐の間違いに気付かなかったことを深く反省。今後の山行での、休憩、水分補給に注意喚起。暑い中ご参加下さった皆様登ったり降りたり頑張って下さって有難うございました。（伊藤 記）

## 土曜山行 横山岳 6月9日 CL 家納、SL 原、松山 参加 21 名

森ノ宮駐輪場前 6：45→9：45 白谷登山口 10：00→コチエ谷登山口（三高尾根コース）→鳥越峠 11：30→西峰 12：40（食事 30 分）13：20→東峰 13：50→金居原コース分岐 14：23（東尾根コース）→東尾根登山口 15：15→白谷駐車場 16：10→森ノ宮駐輪場 19：30

梅雨の晴れ間に恵まれ登山日よりとなったが、2 日前からの大雨でバス中から見る川は増水しており、渡渉の多い白谷本流コースから三高尾根コースに変更しての登山となった。白谷本流コースを楽しみに参加された方には本当に申し訳ございませんでした。横山岳はとにかく急坂の山でした、ブナの原生林が続く光景は、とても美しいかった。鳥越峠付近で、参加者 1 名が体調不良となり付き添い 2 名と下山となり、参加者全員での山行が出来なかったことが残念でした。

（家納 記）

## 有志山行 大峯奥駈道（行者還トンネル登山口～熊野本宮大社）

5月21日～25日 CL 乾 SL 願野 参加 5 名  
5/21 近鉄阿部野橋駅（8：30 集合）⇒阿部野橋駅（8：50 発）⇒[近鉄]⇒  
下市口駅（10：31 着）⇒[タクシー]⇒行者還トンネル西口（11：15 着）[昼食・準備体操]行者還トンネル登山口（11：45 発）⇒奥駈出合（12：55 着）⇒  
弁天の森（13：28 着）⇒聖宝の宿跡（13：55 着）⇒弥山小屋（15：15 着）  
5/22 弥山小屋（6：36 発）⇒八経ヶ岳（7：08 着）⇒弥山辻分岐（7：33 着）⇒

天竺宿跡 (8:43 着) ⇒ 楊枝の宿跡 (10:10 着) ⇒ 仏生ヶ岳 (11:05 着) ⇒  
孔雀岳 (11:50 着) ⇒ 空鉢岳 (13:12 着) ⇒ 釈迦ヶ岳 (14:20 着) ⇒  
かくし水 (水補給) ⇒ 深仙小屋 (16:25 着)

5/23 深仙小屋 (5:00 発) ⇒ 太古の辻 (5:30 着) ⇒ 石楠花岳 (6:18 着) ⇒  
天狗岳 (6:37 着) ⇒ 奥守岳 (7:03 着) ⇒ 地藏岳 (7:55 着) ⇒ 滝田の辻 (8:  
47 着) ⇒ 剣光門 (9:10 着) ⇒ 涅槃岳 (9:48 着) ⇒ 阿須迦利岳 (11:00 着)  
⇒ 持経の宿 (11:30 着) ⇒ 平治の宿 (13:10 着) ⇒ 転法輪岳 (13:45 着)  
⇒ 怒田の宿跡  
(14:10 着) ⇒ 行仙岳 (16:30 着) ⇒ 行仙の宿 (17:05 着)

5/24 行仙の宿 (5:50 発) ⇒ 笠捨山 (7:35 着) ⇒ 葛川の辻 (8:10 着) ⇒ 地藏岳  
(9:07 着) ⇒ 四阿の宿跡 (10:05 着) ⇒ 香精山 (10:45 着) ⇒ 塔の谷分岐  
(11:05 着) ⇒ 古屋の辻 (12:42 着) ⇒ 水呑み金剛 (13:53 着) ⇒ 花折堂 (14:  
55 着) ⇒ 玉置山 (16:13 着) ⇒ 玉置神社 (16:30 着)

5/25 玉置神社 (5:00 発) ⇒ 本宮辻 (5:34 着) ⇒ 大森山 (7:07 着) ⇒ 六道の辻  
(10:14 着) ⇒ 大黒天神岳 (10:41 着) ⇒ 吹越山 (12:17 着) ⇒ 吹越峠 (13:  
32 着)  
⇒ 熊野川渡渉 ⇒ 大斎原 ⇒ 熊野本宮大社 (15:40 着) 熊野本宮大社 (16:47 発)  
⇒ [龍神バス] ⇒ 紀伊田辺駅 (18:54 着) (19:50 発) ⇒ [JR 紀勢線] ⇒  
天王寺駅 (21:47 着)

\* 歩行中小休憩 (被服調整・水分補給含む) は基本 30 分歩行し 5 分休憩とした。

#### \* 宿泊

- ・ 弥山小屋：有人の山小屋 夕食、朝食、弁当 有り コンセント有り  
水・お湯は有料 (1L 100円換算) [有人小屋]
- ・ 深仙小屋：無人避難小屋 太陽光発電の照明 (約 2 時間)、ストーブ有り、  
水源有り急坂往復 30 分強 [避難小屋]
- ・ 行仙小屋：無人避難小屋 太陽光発電の照明 (約 2 時間)、ストーブ有り、  
水源有り急坂往復 30 分強 [避難小屋]
- ・ 玉置神社：事前の予約必須 食事無し 火気厳禁 暖房、  
お湯・お茶サービス、風呂 (掛湯 3 杯) 有り [行者宿坊]

修験道の開祖である役行者が 8 世紀初頭に開いたとされる大峯奥駈道、修験道  
根本道場の金峯山寺がある奈良吉野山と熊野本宮大社 (大斎原) を結ぶ修験道の  
修行場として開かれた道を今回は乾さん、願野さん、楠本さん、湯浅さんにご同  
行させて頂き行者還トンネル登山口から熊野本宮大社まで五日間をかけて歩きま  
した。

五日間の累積歩行距離は約70km、累積歩行時間は約47時間（休憩含む）となりました。（吉野山金峯山寺より歩かれた湯浅さんの累積歩行距離は約90km）天候は当初3日目、4日目は雨予報でしたが3日目のみ雨となりました。気温は初日弥山小屋にて夜間4度まで下がりましたがこれがコース中で最低気温だったと思います。

宿泊は初日が弥山小屋で通常の管理小屋でしたが二日目深仙小屋、三日目行仙小屋は避難小屋で私は初めての経験でした。大峯奥駈道は基本稜線歩きとなるため水確保とその自己管理が非常に重要となりました。最後の玉置神社は本来が修験者の宿坊で食事も無く火気厳禁でしたが蒲団や暖かいお茶、掛湯ですが風呂がありがたかったです。

大峯奥駈道では山上ヶ岳、大普賢岳、行者還岳、弥山・八経ヶ岳、釈迦ヶ岳とピストンや周回で登っておりましたが途中からとは言え通して歩くのは初めてであり情報収集、装備や体力面での事前準備も含めて「登山」に関する気付きが多くあり得がたい経験となりました。

素晴らしい風景と変化に富んだルート、今を盛りに咲き誇るシロヤシオ等の花々、修験と祈りの道と言う精神性も含め紀伊半島の大自然と歴史に、大峯奥駈道を整備され今もその保全に尽力されている方々に、そして今回ご同行させていただきましたメンバーの皆様に感謝です、ありがとうございました。

（稲田（理） 記）

**有志山行 九重、阿蘇の山旅 6月4～7日 L井 参加者3名**

6月5日＝別府港、7,30～レンタカーにて～長者原～牧の戸9,30～避難小屋11,30  
久住山12,20～避難小屋12,50(昼ご飯)牧の戸着14,50～宿泊ロツチ

6月6日＝熊本万願寺のロツチから、阿蘇山に向かいました。道中濃霧にトラハバー

7日＝君は緊張の中、大草原を抜け登山口の観光施設に着きましたが、霧は晴れる事なく、登山は断念しました。帰路は道の駅で御買物などをして、地震の被害の大きい阿蘇神社に参拝する、ガイドさんの説明を受け、再建のめどがまだハッキリとしてないとのこと。国宝、文化財等は大変なんだな一親しみ深い神社の、歴史の深さを知ることが出来ました。黒川温泉、小国、玖珠、湯布院、を抜け、ぬるい湯が売り物の壁湯の露天風呂に浸かり後は出港までドライブを楽しみました。

追伸 雨の山行でしたがミヤマキリシマ、ドウダンツツジが今は盛りに、私達を楽しませてくれました。目に障害が有るかなと思えるパーティの方々と行き違いました、頑張ってくださいとエールを送りつつ頭の下がる思いでした。故郷の山は優しい

ものでしたが、九重から観る大草原の向こうに、涅槃に見える阿蘇の山並みを観れなかった事がちょっと残念でした。雨でしか見られない景色はまた格別な新鮮なものです。山は逃げないからねー  
(宇野 記)

## 有志山行 南八が岳 6月15日～17日

CL 乾 SL 岩佐、堺 参加10名 (内会員外1名)

6月15日(金) 大阪→茅野→美濃戸口

美濃戸口 12:40→美濃戸 14:40→15:50 赤岳鉱泉(泊)

6月16日(土) 赤岳鉱泉 6:50→硫黄岳 9:00→横岳 10:05→14:15 赤岳頂上小屋(泊)

6月17日(日) 赤岳頂上小屋 5:30→権現岳 10:35→15:40 観音平

観音平→小淵沢→大阪

初日 JR, タクシーを乗り継ぎ美濃戸口へ。茅野駅では雨がひどく先が思いやられるが美濃戸口につく頃には雨も止みほっとする。林道約1時間半、沢沿いの道1時間半、合計約3時間で本日の宿泊地赤岳鉱泉に到着、明日からの山行に期待が膨らむ。2日目は雨はないもののガスっていて展望はない。急登を登り硫黄岳へ、横岳付近は岩場の連続で気が抜けない。岩場には高山植物が可憐に咲いて心が和む。時折晴れ間が見え昨日の宿泊地等が見渡せるが山はガスがかかり展望はなし。3日目は天気が一変して雲一つない晴天。山頂からは360度の展望、富士山をはじめ、南アルプスの山並み、中央アルプス、御岳山、乗鞍岳、はるか遠くに白山、また北アルプス、後立山等の山並み。山頂で十分に展望を楽しんで赤岳を出発。しかしここから権現山までは右に遭難のあった阿弥陀岳を見ながら岩場の連続、全く気の抜けない山行が続く。到着時間が予定よりかかったが下山口の観音平に全員無事に到着、今回の山行を終えた。梅雨時で雨を覚悟していたが山行中は合わず大変ラッキーで満足のいく3日間であった。参加者の皆様ご協力ありがとうございました。

(乾 記)